

## ヴォリュームアキュライザーの活用(13)

### —複数箇所への同時適用(10)—

#### 1. 始めに

前報(12)に引き続き、フォノイコライザーとして使用する Brooklyn DAC+のシステムに適用してみます。

#### 2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

Brooklyn DAC+への VRA-7の適用はヴォリュームアキュライザーの導入(13)で報告しています。この時は、Brooklyn DAC+への入力を USB、SDIF-3、アナログライン入力と替えてみたところ、アナログライン入力でかなりの効果を認めました。今回は、Brooklyn DAC+への入力を MC Phono 入力として、と後続ステージの TruPhase と Langevin 6V6pp にも VRA-7を適用してみます。

Garrad 401→(フォノケーブル)→My Sonic Stage1030→(RCA ケーブル)→  
Brooklyn DAC+→(アンバランスケーブル)→TruPhase→(アナログアキュライザー)→Langevin 6V6pp

なお、Garrad 401 のカートリッジは ZYX R100-EX です。

今回は、前報(12)で使用した次のアナログ盤を選定しました。

なお、イコライザーカーブの切り替えはできませんので、すべて RIAA で聴いていきますが、位相の切り替えは Brooklyn DAC+で行います。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュユコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

### 3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴結果

今回は、Langevin 6V6ppのヴォリュームとTruPhaseのヴォリュームにVRA-7を貼った状態で聴いておき、フォノイコライザーとして使用するBrooklyn DAC+に追加で貼ってみることにします。つまり、Brooklyn DAC+での効果を追加で確認するわけです。なお、Brooklyn DAC+の位相の設定は、ミトマニアのみ正相とし、それ以外は逆相にします、

Langevin 6V6ppのヴォリュームとTruPhaseのヴォリュームにVRA-7を貼った状態では、かなりのクオリティで、VRA-7の効果が発揮されています。

さらに、Brooklyn DAC+にVRA-7を貼りますと、三角帽子では、Langevin 6V6ppのヴォリュームとTruPhaseのヴォリュームでの効果にBrooklyn DAC+での効果が加わり、オーケストラの分離が良くなり、音場感が向上します。

チェンバロ協奏曲では、Langevin 6V6ppのヴォリュームとTruPhaseのヴォリュームでの効果にBrooklyn DAC+での効果が加わり、アンサンブルの分離が向上し、全体に透明感が出てきます。

ミトマニアでは、Langevin 6V6ppのヴォリュームとTruPhaseのヴォリュームでの効果にBrooklyn DAC+での効果が加わり、男女のボーカルのニュアンスの表現が向上し、バックの古楽器の質感も向上します。

倍賞千恵子では、Langevin 6V6ppのヴォリュームとTruPhaseのヴォリュームでの効果にBrooklyn DAC+での効果が加わり、倍賞千恵子の声のニュアンスが明瞭になり、バックの伴奏も音場感が向上します。

以上、フォノイコライザーとして使用するBrooklyn DAC+のヴォリュームにVRA-7を適用する効果を認め、Langevin 6V6ppのヴォリュームとTruPhaseのヴォリュームと合わせたパフォーマンスを確認できました。

### 4. まとめ

MC Phono 入力のフォノイコライザーとしてのBrooklyn DAC+のヴォリュームに加えて、後続ステージのTruPhaseとLangevin 6V6ppにもVRA-7を適用した効果を認めました。

以上